

軍

自昭和十九年三月一日
至昭和十九年三月三十一日

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第四中隊

第一陣中日誌ハ左ノ諸部團ニ於テ作ルヘキモノトス

大本營ノ各部(郵便部ヲ除ク)高等司令部(編制上各部ニ區分スルモノハ其各部毎ニ但郵便部ヲ除ク)兵站監部ノ各部兵站司令部聯隊大隊獨立中隊砲兵聯隊段列堡壘團獨立堡壘隊砲臺電信隊衛生隊病院縱列監視隊兵器廠豫備員豫備隊總督輸送部馬廠

留守司令部及補充諸部隊ニ在テハ右ノ區分ニ應シ留守日記ヲ作リ首トシテ第三項乙ニ掲クル項目ニ準シ記載スヘシ

第二 陣中日誌及留守日記ハ諸隊團隊動員令受領ノ日ヨリ記載スベキモノトス

特別部隊等ニ在リテハ先ツ到着セシ將校又ハ同相當官之カ記載ヲ始メ後ニ之ヲ主任者ニ移スモノトス

第三之ヲ作ルノ目的ハ左ノ二項ニ在リ
甲各人若クハ諸部隊ノ經歷若クハ遭遇シタル實況ヲ記載

シ一ニハ戰史之用ニ資シ一ニハ各人ノ勤務ヲ他日銓衡スルノ參考ニ供ス

乙 編制教育補充給養衛生武器彈藥器具材料被服裝具等凡テ軍事ニ關スル軍物經驗ヲ錄シ將來改良材料ト爲ス

第四

甲ノ目的ヲ達センニハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

一 命令ノ訓令ノ通知（隊員ノ職務日誌ニ載セタルモノハ單に其ノ要領ヲ記シ其ノ詳細ハ該隊員ノ職務日誌ニテ記スルコトヲ附記スヘシ）

二 毎日ノ位四旦（某地ヲ去リ某地ニ至ルノ時）ノ経過

三 行軍ノ宿營ニ關スル事項

四 戰鬥ノシテ小況（戰中ノ新機ヲ察スルモノニテ隣接部隊トノ關係及緊要事項ヲ記スルコトヲ要ス）

五 戰鬥開始ニ生シタル事情

以上ノ事 記スルニ方リ時 記スルコトヲ志ル可ラス又以上ノ事ニ關シ自己ノ觀察ニ對シテ必要ナル事項（天候地形險易道路ノ良否人馬ノ多寡小等ノ類）ハ簡明ニ記セザル可ラス

八 休養中ノ事情
九 野戰中ノ事情

十 其他凡ソ其ノ一日間ニ生シタル緊要ノ事項

第五

乙ノ目的ヲ達センニハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

一 武器彈藥器具材料被服裝具等ニ關スル事項

二 編制教育補充給養衛生武器彈藥器具材料被服裝具等ニ關スル事項

三 補給ノ給養及衛生ニ關スルコト

四 教育及訓練ニ關スルコト

五 非常ノ時ニ生シタル事情

第六

高等司令部諸部隊諸官等ヨリ到來セル命令訓令通知等

ニ送ル報告等凡ソ其ノ要領ヲ簡明ニ記シ後ニ必要ナル時ニ參照スルコトヲ要ス

ヘシ但各原本ハ種類毎ニ別ニ保存スヘシ

秘察ニ成ルル特別任務等ニシテ之類ノ之ヲ日誌ニ記載スル能ハサル
モノト雖モ其ノ功ニキ一ニ至テハ或ルヘシテ其ノ類ニ其類未ヲ記載スルモ

第七 凡ソ此日誌ハ月日時(順序ヲ違ヒ)ト地名トヲ明記セサル可
ラス而シテ諸部團隊長及參謀長之ヲ所檢シ毎日記載ノ結尾
ニ捺印或ハ筆押スヘシ

第八 此日誌ハ諸部團隊復員(完結)日ヲ以テ終局ト爲シ且
一本ヲ隱密シ順序ヲ終テ陸軍省ニ原本ハ其ノ部隊ニ送付スヘシ
陸軍省ハ此日誌中ヨリ所要ノ事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ他ハ皆
參謀本部ニ送リ之ヲ陸軍文庫ニ格納スヘシ
第九 此例式ハ必ス陣中日誌ノ巻首ニ貼付スヘシ

第十 陸軍省ハ此日誌ノ整理ニ責任ヲ負ヒ且其ノ保存ニ注意スルベシ
第十一 陸軍省ハ此日誌ノ印刷ニ注意スルベシ

第十二 陸軍省ハ此日誌ノ保管ニ注意スルベシ
第十三 陸軍省ハ此日誌ノ廃棄ニ注意スルベシ

第十四 陸軍省ハ此日誌ノ管理ニ注意スルベシ
第十五 陸軍省ハ此日誌ノ調査ニ注意スルベシ

第十六 陸軍省ハ此日誌ノ報告ニ注意スルベシ
第十七 陸軍省ハ此日誌ノ記録ニ注意スルベシ

第十八 陸軍省ハ此日誌ノ整理ニ注意スルベシ
第十九 陸軍省ハ此日誌ノ保存ニ注意スルベシ
第二十 陸軍省ハ此日誌ノ印刷ニ注意スルベシ
第二十一 陸軍省ハ此日誌ノ保管ニ注意スルベシ
第二十二 陸軍省ハ此日誌ノ廃棄ニ注意スルベシ
第二十三 陸軍省ハ此日誌ノ管理ニ注意スルベシ
第二十四 陸軍省ハ此日誌ノ調査ニ注意スルベシ
第二十五 陸軍省ハ此日誌ノ報告ニ注意スルベシ
第二十六 陸軍省ハ此日誌ノ記録ニ注意スルベシ
第二十七 陸軍省ハ此日誌ノ整理ニ注意スルベシ
第二十八 陸軍省ハ此日誌ノ保存ニ注意スルベシ
第二十九 陸軍省ハ此日誌ノ印刷ニ注意スルベシ
第三十 陸軍省ハ此日誌ノ保管ニ注意スルベシ

秘察ニ属スルモ別ニ注シテ之ヲ日誌ニ記スル能ハサル
モノト雖モ其ノ妨ニ至テハ或レハシテ詳細ニ其顛末ヲ記載スルモ
ノトス

第七 凡ソ此日誌ハ月日時(順序ヲ述ビ)ト地名トヲ明記セサル可
ラス而シテ諸部團隊長或參謀長之ヲ照檢シ毎日記載ノ結尾
ニ捺印或ハ筆押スヘシ

第八 此日誌ハ諸部團隊長(完結)日ヲ以テ終局ト爲シ
一本ヲ隨志シ順序ヲ終テ陸軍省ニ原本ハ其ノ部隊ニ付送スヘシ
陸軍省ハ此日誌中ヨリ所要ノ事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ他ハ皆
參謀本部ニ送り之ヲ陸軍文庫ニ格納スヘシ
第九 此例式ハ必ス陣中日誌ノ巻首ニ貼付スヘシ

陸軍省
參謀本部
陸軍文庫
各部隊
日誌
捺印
筆押
原本
抄録
格納
貼付

第一 陸軍省
第二 參謀本部
第三 陸軍文庫
第四 各部隊
第五 日誌
第六 捺印
第七 筆押
第八 原本
第九 抄録
第十 格納
第十一 貼付

第十二 陸軍省
第十三 參謀本部
第十四 陸軍文庫
第十五 各部隊
第十六 日誌
第十七 捺印
第十八 筆押
第十九 原本
第二十 抄録
第二十一 格納
第二十二 貼付

第二十三 陸軍省
第二十四 參謀本部
第二十五 陸軍文庫
第二十六 各部隊
第二十七 日誌
第二十八 捺印
第二十九 筆押
第三十 原本
第三十一 抄録
第三十二 格納
第三十三 貼付

第三十四 陸軍省
第三十五 參謀本部
第三十六 陸軍文庫
第三十七 各部隊
第三十八 日誌
第三十九 捺印
第四十 筆押
第四十一 原本
第四十二 抄録
第四十三 格納
第四十四 貼付

衛兵司令部
 步哨掛
 松本上等兵
 數家一等兵
 高橋一等兵
 高橋一等兵
 將校以等上等兵

兼教育
 一 廿日命第九日號之練兵要員增修令及此日一等兵口七〇〇
 二 中隊多出發隊
 三 二至二〇〇由文武訓練場所兼次南側前進隊地附近
 兼示隊兼示隊實施兼示隊討抗部隊トシテ
 部分的教育ヲ實施ス
 自一七〇〇兵舍構築不用資材、運搬兼及校南側道路
 上ニ集積ス

中隊長

陸軍大尉
 橋本安弘

浦野	青田	久美	男	一	父洋	正
山崎	山崎	山崎	男	一	中	井
山崎	山崎	山崎	男	一	高	嘉
山崎	山崎	山崎	男	一	高	嘉
山崎	山崎	山崎	男	一	高	嘉

第一小隊 隊長 中門正三
 第二小隊 隊長 中間片謙三
 第三小隊 隊長 山越友雄

分隊	連下	分隊	連下	分隊	連下
1	2	3	4	5	6
...

分隊	連下	分隊	連下	分隊	連下
1	2	3	4	5	6
...

新第一		新第二		新第三		新第四	
第一	第二	第一	第二	第一	第二	第一	第二
中	新	中	新	中	新	中	新
門	軍	門	軍	門	軍	門	軍
五	三	五	三	五	三	五	三
三	二	三	二	三	二	三	二
一	一	一	一	一	一	一	一
...

蘇本 蘇本 蘇本 蘇本

第四中制蘇本表 田一政一三二

同下士官

谷内軍曹

同上等兵

吉澤上等兵

衛兵司令 野村伍長

歩哨掛

松下七等兵

歩哨

田中二等兵

荒井一等兵

向川一等兵

片取一等兵

大員

將校以下

一三四名

十月二日

午前午後共勤勞作業隊員四名 賃用三兵合稱

築用資材集積

兼受

陸軍伍長

奥奈玉一

同

杉本正一

兼受

陸軍伍長

榊原正二

兼受

陸軍伍長

佐藤軍曹

(十月一日附)

勤務

日直將校

大門中尉

同 下士官

麻柄軍曹

同 上等兵

砂地上等兵

衛兵司令

小林伍長

歩哨掛

山崎上等兵

歩哨

中田一等兵

根塚一等兵

將校以下 一二四名

長谷川一等兵 浜野一等兵



員

十二月四日

一〇八三〇ヨリ勅諭奉讀式ヲ舉行ス

兼次

勅諭奉讀式終了後昨日ニ引續キ兵舎用資材集積ス

作業

勤勞奉仕隊員一八名使用 兵舎用資材集積

兼次校見重(高等科)ノ奉仕ヲ受ケ兵舎用ノ茅ヲ

集積ス

行 事 三

達式奉讀式

陸軍曹長 藤田美男

受 領 三

第四中隊附ヲ命ズ (十一月一日附)

勤 務

日直將校 間片中尉

同 下士官 島川軍曹

同 上等兵 境 上等兵

衛兵司令 根橋兵長

歩哨掛

齋藤上等兵

歩哨

山岡一等兵

夏野一等兵

磯波一等兵

川淵一等兵

將校以下 一二四名

十二月五日

一〇八三〇ヨリ御下賜品傳達式ヲ行フ

晴兼女ニ式終了後引續キ兵舎用資材ノ集積ヲ行フ

受領
物送
第四号

三二〇〇左記命令ヲ受領ス

一 聯隊ハ旅團防衛作戰計畫大綱ニ基キ新配備ニシテ

二 移駐第一日八十二月六日トス

三 第二三大隊及第一三大隊各中隊長ハ都新陸地偵察ノ

タリ十二月七日ハ時本部國民學校ニ集合シ自動貨車ニ

依リ新移駐地ニ先行ス

中隊長ハ下士官一兵ニ同行セシム

四 各隊ハ獨混一五作命第三號別冊移駐計畫ニ依リ各

中隊ハ小隊長ノ指揮スル約一五小隊ヲ現立備地ニ残置シ

荷物ノ追送ヲ行ヒ荷物ト共ニ成可ク速ク新地ニ追及ス

五 本部各隊ニ携行糧秣輸送ノタリ荷馬車ヲ配付ス

六 今歸任及謝名記各中隊隊員留省ハ遂次荷物ヲ渡久地附近

集積セシメ荷物集積後本部國民學校ニ指送官ヲ附シ

七月八日七月七日九日渡久地發新移駐地ニ至ル

聯隊長 美田大佐

受領
第四号

四一五〇井作命第四〇〇号ヲ受領ス

一 聯隊ハ〇日ヲ期シ新防衛地區ニ移駐ス

二 第二大隊ハ〇日現在地出發移駐地ニ前進シタル後旅團ノ

指揮下ニ入ラントス

三 各隊ハ〇日〇時ニ移駐準備ヲ完了ス

四 本部各隊ヨリ左記人員ヲ残置シ兵器彈藥糧秣其他ノ

二 貨物ノ輸送及残務整理ニ任セシム

各隊 將校 一 約 一小隊

五 森岡中尉ハ前壕人員ヲ併シ揮シ部隊本部ト連絡シ上前項任

務ヲ遂行シタル後速ニ本部ニ追及ス

六 彈藥携行區分ニ關シテハ獨混一五作命第三号別冊ニ依リ

外左記彈藥ヲ追加ス

左記

三八九式重擲彈筒榴彈一筒 一六發

口拳銃 一銃 彈一銃 一五發

七借用物品之返着防謀整理整頓ニハ持ニ萬遺憾ナキヲ

期スヘシ

八予ハ今歸仁國兵團ヲ在リ

大隊長 井上 大尉

井上 大尉 井上 大尉

一六隊ハ七日今歸仁國兵團ヲ在リ新整備地ニ駐

出セントス

ニ各隊ハ七月一九三〇迄ニ現ニ續行シタル教育備ヲ撤収シ今歸仁校ニ

集束スヘシ

三六月中對ハ第二大隊主力ヲ備中指揮シ行軍ニ依リ新移駐地ニ立

旅團主力カ移駐ニ伴テ訓示

今般旅團主力カ移駐ノ命ニ接シ茲ニ國頭防衛ヲ第一歩兵隊長ニ譲リ新ニ

南方ノ西地ニ移駐セントス

惟フニ國頭地方ハ過去數ヶ月ニ亘リ旅團、全カヲ以テ之ヲ守備シ各

部隊克ク本職ノ方針ニ從ヒ多數將兵、血ト汗トヲ傾倒シ茲ニ營々ト

シテ刻苦勸精日夜ヲ分タス作戰ニ筑木城ニ將テ教育訓練ニ邁

進シ今將ニ敵擊滅ノ準備成ラントスル秋今日、事アル定ニ忍マ

カラサルモツアリ

更ニ思ヲ一〇。空襲時ニ及ボス時感更ニ切ナルモツアリ

然リト雖モ軍作戦構想、變化ニ伴テ新防衛地區ニ於ケル任務ハ

更ニ重大ニシテ旅團主力ハ國頭方面ノ部隊ト共ニ軍ノ重要ナル交

作戰ヲ相當シ我兵團ノ責務ハ益ニ重キヲ加ヘタリ

諸官ハ駐リテ國頭ノ要地ヲ守備スルト移リテ南方ニ轉スルト間

ハス此機ニ臨ミ更ニ新銳ノ氣ヲ振起シ以テ軍全般ノ作戰ニ必勝

ヲ期スルノ與見悟ナカルヘカラス
 殊ニ國軍ノ皇國ノ興廢ヲ賭シテ戰ヒツアルノ今日吾人ハ如何ナル難事
 ヲモ甘受シ益ニ志氣ヲ叩揚シ敵ノ進攻近モアルヲ想ヒ益ニ準備ノ
 優越ト訓練ノ精到トニ依リ急速ナル作戰準備ノ完成ヲ圖リ一意數
 勝ノ一途ニ邁進スヘシ 尚ホ舊地區ニ在ル本職指揮下並ニ區處下
 各部隊ハ克ク本職ノ意ヲ体シテ或ハ隷下部隊ノ如ク或ハ緊要密ナル
 快同ノ下ニ明朗且カモ嚴肅ナル軍紀ノ下克ク本職ヲシテ其任務
 遂行ヲ容易ナラシメタリ 茲ニ謝意ヲ表スルト共ニ新部隊長
 ニ對シテモ亦本職同様ナランコトヲ望ム
 時冬ニシテ本島亦寒氣ヲ覺工切ニ將兵ノ健斗ヲ禱ル

昭和十九年十二月
 獨立混成第四十四旅團長 鈴木繁二

進ス

四 間片中尉ハ本輸送間ノ設備ニ在スヘシ
 五 各隊ヨリ兵五本輸送間ノ荷物搭載トシテ差出スヘシ

六 宿營地ハ名護村許由ト予定ス

七 出發ハ七日ニシテ定スルモ別命ス

八 三十九日ニシテ今歸仁校ニ在リカハ八〇〇自動貨車ニ依リ現在

地發先行ス

大隊長 井上大尉

訓 六 旅團主力移駐ニ伴フ訓示受領ス 訓示別紙ノ如シ
 勤務 直將校 長越少尉
 同下士官 岡部伍長

同上等兵 宮林上等兵
 衛兵司令 柳太伍長

歩哨隊 柳沃上等兵

人員 將校以下一三四名
 歩哨 水島一等兵 平山一等兵
 川島一等兵 小池一等兵

兼次
 二十日 一 中隊ハ移駐準備ヲ實施ス
 二十日 二 午前中ハ兵舎内外ノ清潔整頓ヲ行ヒ二三時ヨリ中隊長ノ
 巡視ヲ受ク

行 三 一三〇日ヨリ旅團三ノ移駐ニ伴フ訓示ヲ全員ニ對シ傳達ヲ行ハル
 引續キ移駐ニ關スル注意ヲ與フ(中隊長)
 四 陪中隊ハ輸送船ノ設備者トシ一三〇日ヨリ中隊ヲ出發ス

五 中隊長カ八八〇日整列兼次長職員一同及生徒一同ト別レテ告
 大門口ニ指針ニ依リ出發ス
 六 自働貨車ニ依リ先行スルタメ人員ハ左ノ如シ
 中隊長 山崎軍曹 立本兵長 澤田上等兵

人員	區分	少尉	軍曹	伍長	兵長	上等兵	等兵	醫兵	總計
一	一	二	三	六	一六	一			二九
計	六	名	計	九	名	計	九	名	計
第一分隊 (1/1)	長	陸軍少尉 友雄	班長	吉澤嘉一	第一分隊 (1/1)	班長	吉澤嘉一	第一分隊 (1/1)	班長
第二分隊 (1/1)	長	陸軍少尉 友雄	班長	吉澤嘉一	第二分隊 (1/1)	班長	吉澤嘉一	第二分隊 (1/1)	班長
第三分隊 (1/1)	長	陸軍少尉 友雄	班長	吉澤嘉一	第三分隊 (1/1)	班長	吉澤嘉一	第三分隊 (1/1)	班長
1	上	宮林 孝一	1	上	境部 宗久	1	上	柳澤 朝義	
2	1	武部 芳雄	2	1	小川 宗次	2	上	竹山 光造	
3	1	荒井 喜三	3	1	森川 修吉	3	1	芳田 三郎	
4	1	山崎 金義	4	1	川島 忠一郎	4	1	本村 幸二	
5	1	田村 清二	5	1	砂地 慶次郎	5	1	島本 十藏	
6	1	池田 永辰	6	1	林正 夫	6	1	福島 政三	
7	1	道永 甚作	7	1	坂本 清吉	7	1	新井 清吉	
8	1	道永 甚作	8	1	坂本 清吉	8	1	新井 清吉	
9	1	道永 甚作	9	1	坂本 清吉	9	1	新井 清吉	
計	六	名	計	九	名	計	九	名	計
二	二	三	六	一六	一				二九

八	一	二	三	六	一六	一			二	六
人	一	二	三	六	一六	一			二	六
員	一	二	三	六	一六	一			二	六

班	大	名	班	大	名	班	大	名	班	大	名
一	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
二	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
三	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
四	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
五	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
六	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
七	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
八	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
九	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十一	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十二	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十三	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十四	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十五	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十六	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十七	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十八	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
十九	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三
二十	田	金	二	三	三	一	二	三	一	二	三

八二三四八門中尉ハ大隊長代理トシテ六隊主トシテ指揮シ格別
 多今歸仁謝名國天ノ學校ニ出發○○地ニ向仁軍ニ渡リ
 前進ス

殘留者勤務表ノ如シ

勤務	日直將校	長越少尉
	同 下士官	稻場軍曹
	同 上等兵	竹山上等兵
人員	任業人員	大門中尉以下八九名
	殘留人員	中隊員以下三三〇名

二日 一〇六〇〇中連隊團頭部名護村許田ニ到着ス
 二日 一〇六〇〇左衛門命令ヲ受領ス

各隊町許
受領
井作命
竹五郎

一 大隊ハ現在地ニ於テ大休止ヲセシム

二 各隊ハ設営生口ノ區處セルトコロニ從テ大休止ヨスヘシ

三 宿舎ニ就カハ速ニ兵器被服ヲ入リテ行ヒ次期ノ行軍ヲ準備
ヨサスヘシ

四 警備ニ集口所ハ許田橋ヲ先頭トシテ連制順序ニ集合スヘシ

空襲ニ際シハ各隊ハ着地附近ニ地物地標ヲ利用シ極力
疎離スヘシ

疎離スヘシ

五 本日、日直將校ハ第五中隊長井ノ尉ヲ服務スヘシ

六 給養品類シテハ本ノ命令ニ從テ現品支給ヲ受テ飯炊事ヲ
實施スヘシ 尚明朝分ハ本ノ命令後炊事セシモヲ携行スヘシ

七 本夜、出發ハ二四コロト予定スルモ別命ス

八 出發ニ際シハ許田橋ヲ先頭トシテ連制順序トス

九 一七コロ命令受領者ヲ予メ下ニ差出スヘシ

先 行 三 隊長以下四名ハ先發シテ大隊既出、自動員機ニ依リコロハ
歸任校ヲ出發シニコロハ度慶次國史學校ニ到着ス

陣地偵察 四 一四コロヲ隊長ハ交代部隊ヲ先發陣地偵察ニ出シ受メ

受領 井輪命 竹五郎 五行軍部隊井輪命等ニ受領ス 一二七一七コロ 許田

一大隊ハ二四コロ許田ヲ發シ各茶室ニ前送セシム

二 各隊ハ二三四コロ許田橋ヲ先頭トシ連制順序ニ行軍体形ニ
集合スヘシ

三 各隊ハ日直下上官ハ防諜火災盜難等殲滅ヲ期スヘシ

四 予メ二四コロ許田橋ニ位置シ爾後部隊ハ先頭ニ在リ

大隊長代理 大門中尉

行 勤 六 中隊ハ二三コロ大休止ヲ撤シ大隊ノ行軍序列ニ入ラントス
七 行軍部隊中隊指揮官 田間曹長トス

勤 務 日直下上官 杉本軍曹

交員

行軍 八九名
残留 二九名
先行 四名

十月八日

一 部隊ハ〇〇〇許田ヲ出發シ〇五三〇谷茶ニ到着ス

井作輪命

二 井作輪命ヲ號令受領ス

受領

一 大隊ハ現在地ニ於テ大休止ヲ實施セントス

井作輪命

二 各隊ハ間片中尉ノ區署ヲ受テ速カニ休養スヘシ

受領

三 警急集合所ハ公會堂ヲ先頭ニ道路上ニ集合スヘシ

受領

順序ハ建制順序トス

受領

四 本日夕朝点呼ハ〇八三〇日夕点呼ハ一八三〇トス

受領

五 空襲ニ際シテハ休養地附近ノ地形地物ヲ利用シ極力疎開スヘシ

受領

六 機関銃一カ小队ハ對空射撃部隊トナリ戦士準備ヲ成シ

受領

七 各隊ハ速カニ兵器被服ヲ手入ヲ完了シ次期行軍ノ準備ヲ完了セシムヘシ

受領

八 本日ノ日直將校 第六中隊 田村少尉 服務スヘシ

受領

九 本日ノ給養食昼食夕食ヲ經理室ヨリ現品ヲ受領シ飯盒炊事ヲ實施スヘシ 昨朝食ハ本夕炊事スルモヲ携行スヘシ

受領

可本日ノ出發ハ十月九日〇二〇〇ト予定スルモ別命ス

受領

二 千八百谷茶區長當山方ニ在リ

受領

大隊長代理 大門中尉

受領

宿營 三 中隊ハ設営者間片中尉ノ區署ニ休テ大休止ヲシテ宿營ス

受領

兵器被服ヲ手入ヲ行ヒタル後休養ス

受領

井作輪命第四師 受領ス

受領

一 大隊ハ九日〇二〇〇谷茶ヲ發シ山田一長 渡道ヲ經テ渡慶次ニ

受領

向ヒ前進セントス

二各隊ハ日一四ノ迄ニ公會堂ヨリ先頭ニ連制順序ヲ行軍体形ニ集合スヘシ

三各隊ハ出發ニ當リ所謀大災盜難ヲ撤滅スル期スヘシ

四間片中尉以下設置者及炊事勤務者ハ速ク渡慶次ニ至リ部隊

渡慶次到着後炊事一切支障ヲ極準備スヘシ

六予ハ日ニ公會堂前ニ在リテ爾後部隊ノ先頭ニ在リ

大隊長代理 大門中尉

勤務 日直下士官 眞原軍曹

陣地引継五 中隊長ハ午前午後ニ直リ前部隊ヨリ陣地ヲ申受フタリ

陣地ニ出發セラル

人員 行軍 大門中尉以下八九名

残留 長越少尉以下二九名

先行 中隊長以下 四名

陣地

到着ス

訓示 二渡慶次校到着時大隊長ヨリ左ノ如ク訓示ヲ受ケ大隊長ノ指揮下ニ入ル

訓示 大隊長

一軍ノ命令ニ依リ計畫通りノ行軍ニ依リ降雨ノ中ニ今日迄引續キ行軍シタリテアルガ諸氏ハ元氣ヲ現在地ニ

到着シタルニトハテノ満足トスルトコロナリ

二大隊ハ現在地ニ於テ前部隊ノ任務ヲ引受敬言備スルコト

アル

三先ツ設置者ノ區處ニ依リ既備シ兵器被服ヲ全入ヲ行後

休養スゴト 御苦勞ヲアツタ

編隊解除 三部隊ハ編成ヲ解除カレ宿營ニ付ケントス

受領
井作命
第四三号

四井作命第四号受領又 一二九 日六〇。

- 一大隊ハ本日以降中頭北區郡室喜味附近一帯ニ宿営ス
- 二各隊ハ夫ニ設營者、指ホニ基キ宿營スヘシ
- 三左記宿營地ニ宿營スル部隊ハ本日朝食後速ニ別該地ニ至リ配備ニツクヘシ

左記

都屋楚辺渡具知——第四中隊一部

四部隊衛兵ヲ左、如ク差出シ服務セシムヘシ

司令 (下士官若クハ兵長) 一

歩哨掛

歩哨

服務中隊

五 陸軍曹長 田開久雄

九日部隊直將校ニ服務スヘシ

六 警急集合所ハ與子校カ庭トス

七 空襲ニ際シテハ速ニ戰鬥配備ニツクヘシ

八 予ハ渡邊次國民學校ニ在リ

大隊長 井上大尉

五 中隊命令ヲ下達ス 一二九 日六〇。

下達命令
中隊命令

一中隊ハ井作命第四ニ號ニ基キ現在地ニ於テ宿營ス

二各小隊(間尤小隊除ク)ハ設營者、指ホニ依リ宿營スヘシ

三間尤小隊ハ現在地ニ於テ朝食ヲ終リ日九〇口敷正列シ井作命ニ

依ル都屋楚辺渡具知ニ至リ配備ニ付タヘシ

出發ニ際シテハ中隊ニ續行スヘシ

四 中隊ニ給養ニ関シテハ谷内軍曹大隊本部ニ連絡シ特ニ分屯小隊

ニ給養ニ関シテハ連絡ヲ密ニスヘシ

五 警急召集合場ハ校庭トス

六 空襲ニ際シテハ決ニ戦斗配備ニシテハシ

中隊長 橋本大尉

六 中隊ハ井作命及中隊命令リ依リ宿營ニ先ツ食事ヲ終リ兵器

被服ヲ手入ヲ行ヒ後休養ス

井作命

七 井作命第四三号ヲ受領ス 二九 〇八 〇

一 旅團ハ敵ヲ沖繩北同中飛行場占領ヲ妨害スルト共ニ状況ニ依リ

軍主力ハ中頭地區出雲ノ支障トナリ又各種手段ヲ盡シ敵主

カノ上陸點ヲ軍主力方面ニ誘致スル如ク欺騙ス

二 大隊ハ北地區隊トナリ主カヲ以テ座喜味北側高地ヲ占領シ所

在部隊ト緊密ニ協同シ以テ敵ノ沖繩北飛行場ヲ妨害ス

尚一部ヲ以テ喜名東方高地ヲ占領旅團主ク進カントシノ據

点トナリ一部ヲ以テ山田殘波岬 宇座國吉屋取 都屋

楚辺 渡具知ニ前進陣ヲ占領シ海上敵監視ニ任スルト共ニ

三 第四中隊左第一線主カヲ以テ△以高地南西側台地ヲ占領ス

一部ヲ以テ都屋楚辺渡具知ニ前進陣地ヲ占領シ海上監視警戒

陽動欺騙ニ任スヘシ 細部ニ関シハ現地ニ於テ指示ス

四 第一線内中隊戰鬥地境

左第一線 喜名北端 座喜味北端 高志保北端 後間南端 六古屋

右第一線 渡慶次北地區隊本部ニ在リ 乙号戰備ト共ニ座喜味台地

五 予ハ渡慶次北地區隊本部ニ在リ 乙号戰備ト共ニ座喜味台地

指揮所ニ至ル

北地區隊長

井上大尉

中隊命令下達ス

一 中隊ハ井作命第四三號ニ基キ陣地ヲ既備ニシカントス

二 中隊ハ左第一線トナリ主カヲ以テ△以高地南西側台地ヲ占領

ス間并小隊ハ都屋ニ主カヲ置キ楚辺渡具知ニ各一分隊ヲ既

置海上監視警戒並ニ陽動欺騙ニ任スヘシ

井作命

中隊命令

八

細部ニ開シテハ現地ニ於テ指示ス

三間先小隊ヲ連絡ニ関シテハ毎日〇八〇〇傳テテ派遣ニ連絡ス

四間先小隊ヲ給養ニ関シテハ谷内軍曹區署ス

中隊長 橋本大尉

行 九間先小隊ハ〇九〇〇校庭ニ集合シ命令示ル現地ニ向ヒ前進

出發ス 中隊長同行シ指示ス

都屋到着〇九四五 楚辺到着〇一〇〇 渡具知到着〇一〇五〇

小隊ノ配置左ノ如シ

左記

配 備

都屋 竹前伍長以下八名(第二分隊)

口楚辺 小隊長以下十二名(第四分隊)

八渡具知 中山伍長以下九名(第一分隊)

渡具知ニ歸還ス

受 領

井日命第九五號ヲ受領ス

一 十日 大門中尉 日直勤務ニ服ス

二 明十五日ニ番備兵ハ第六中隊トシテ以下第四六中隊線取ス

受 領

井上隊會報ヲ受領ス

一 明十日一三〇〇ヨリ大隊長内務巡視ヲ實施ス

巡視経路 將校室一本部一各一医務室一各一竹一炊事一

出来得ルハ順テ

二 巡視終了後各隊ハ非常用防空壕ヲ構築ス

場所 明日明記ス

三点呼報告ハ將校室前トス

勤 務

部隊日直將校 田岡曹長 服務ス

中隊日直下士官 伊藤伍長

同 上等兵 山城上等兵
 衛兵司令 笹木兵長
 歩哨掛 井原上等兵
 歩哨 水島一等兵 芹澤一等兵
 花本一等兵
 將校以下 九五名 後發 小隊長以下 二九名

二十日
 一 午前中 全隊外へ清掃ヲ行フ
 二 一〇〇中隊長 出務 逃視ヲ行ハル
 三 一三〇ヨリ 大隊長 内務 逃視ヲ行ハル 一三二〇中隊長 逃視ヲ受ク
 四 一四〇ヨリ 逃視 終リ 渡邊 校吏 側台 上ニ 於テ 防空用 待避壕ヲ 構
 築ス
 給五 分屯 小隊 附片 中尉 松下 上等兵 以下 三名 分屯 小隊 給養 糧秣 受領
 及 連絡 タノ 中隊長 へ 來隊 セラル

連命令
 日直勤務表 通リ 服務スヘシ
 一三二〇

月日	日直下士官	日直上等兵	日直下士官	日直上等兵
一日	小林 伍長	山崎 伍長	小林 伍長	井原 上等兵
二日	野村 伍長	若 上等兵	伊藤 伍長	澤田 上等兵
三日	霜上 伍長	松本 上等兵	野村 伍長	大井川 上等兵
四日	谷内 軍曹	恒川 上等兵	霜上 伍長	笹木 兵長
五日	奥原 軍曹	五島 上等兵	谷内 軍曹	余川 上等兵
六日	杉本 軍曹	齋藤 上等兵	高川 軍曹	山崎 上等兵

勤務
 部隊日直將校 大門 中尉 服務ス
 中隊日直勤務者 小林 伍長 山崎 武雄 上等兵
 都屋 分屯 隊 日直下士官 竹前 伍長
 都屋 監視 哨 長 根橋 兵長

歩哨 向川一隊兵 入井一隊兵 下山一隊兵
渡具知監警哨 長 中山伍長

渡慶次 平山一隊兵 鍛冶一隊兵 山岡一隊兵
將校以下六和名

分屯隊 同 二九名
後發 同 二九名

十一日 一分隊長以上新陣地偵察、夕ノ口八三也中隊出發新陣地ニ至ル

渡慶次 二兵八谷内軍曹全員指揮、昨日引續新陣地ニ至ル

作業 一四〇〇子新陣地ニ至リ陣地ノ状況ヲ知ル

大隊長陣地 三大隊長 都屋 楚 辺 渡具知、陣地視察、夕ノ口分屯隊ニ來
隊セシル 副官同行ス

四分屯隊 勤務免除、以外ニシテ防犯用槍械ヲ構テス六ヶ完カス

食用セシ自輜車ハ各隊毎ニ一部間ト、連絡中隊間ト、連絡以外
ニ使用ヲ嚴禁ス 休養不能行 取扱可成リニスヘシ

二各分屯隊ニ副食物其、他物資諸般、夕ノ口ニ買出許可證ヲ交付ス
右許可證ヲ持參セシニテ茶ニ戻家ニ入リテ見セハ

嚴重處罰ス
二爾今會報時、一五口ト変更ス

勤務 中隊日直下士官 杉本 軍曹

部隊 衛兵司令、與原 軍曹
同 上等兵 山崎 上等兵

歩哨 大井川 一等兵
數井 一等兵 則島 一等兵

中山 一等兵

分屯隊勤務左如シ

日直下士官 竹内軍曹

監視哨兵(都屋) 竹前任伍長

歩哨 吉林一等兵 觀見一等兵 夏野一等兵
森山一等兵 白川一等兵

同 (渡具田) 松下上等兵 根家一等兵 中瀬一等兵

歩哨 根家一等兵 中瀬一等兵

渡度次 將校以下 六四名

分屯隊 同 二九名

後發 同 二九名

三月十二日
渡度次

一 大隊命令ニ依リ本日ハ強雨ノ多ク休養ス

中隊ハ兵器被服ノ手入れノ實施シタルヲ以テ休務ス

二 本日、命令受首ナシ
中隊日直下士官 和浦上伍長

監視哨兵 松下上等兵

歩哨 平山一等兵 殿治一等兵 山岡一等兵

都屋監視哨長 竹内軍曹

歩哨 伊藤一等兵 白川一等兵 下山一等兵

日直下士官 竹前任伍長

渡度次 將校以下 六四名

分屯隊 將校以下 二九名

後發 將校以下 二九名

十一月十日
渡度次

一 中隊ハ八三〇作業ノ夕夕出發シ陣地ニ至リ厚帷捲除、排水

工事ヲ急實施ス

二 獨立連隊第十五隊命令 渡領ス 一二三 一〇〇

下士候補者ヲ集合教育ニ参加セシメントス

渡領命
渡度次

受領
禮部

各中隊長候補者ヲ正月十五日夕刻迄ニ越來國民學校ニ集合
セシメ警官原少尉ノ指揮ニ入リ教育ヲ受ケシム

三彌生混成第一五聯隊日々命令 一三一一三

一 第四中隊 陸軍一等兵

燒田信弘

同

小川宗作

石昭和二〇年第三年度下士官候補者トシテ旅團下士官教

育隊ニ介達ヲ命ズ

依而十二月十五日一六〇〇迄ニ聯隊本部ニ集合ニ部隊副官ノ

指示ヲ受ケル

服装 軍裝個人裝備彈藥帶口糧等ヲ各中隊長令筆

記具 日用品 履具ヲ携行ス

分屯隊 四分屯隊小隊長間光中尉 一六〇〇一六〇〇間 履具知分隊陣地

構築ヲ指導シタリ出立セラル

中隊日誌下士官 谷川一等兵

都窪監現哨長 小池一等兵 壹日一等兵

都窪監現哨長 澤田一等兵 森川一等兵

都窪監現哨長 下井一等兵 森川一等兵

都窪監現哨長 越巻一等兵

渡具知監現哨長 根塚一等兵 長瀬一等兵 中瀬一等兵

日直下士官 所内軍曹

渡慶次 將校以下 六四名

分屯隊 將校以下 二九名

後發 將校以下 二七名

人員

後發 將校以下 二七名

人員

十二月十四日
渡度次
辨相命

一 前日ニ引續キ作業ヲ實施ス
二 井上隊員命令 一三二四

一 糶秣庫衛兵トシテ喜名山田ニテ糶秣庫ニ在リ也ク差出ス

喜名 第四中隊 第六中隊 長以下八名

兩中隊、之代、海邊水櫃日口九口トス

二 別紙、通、日直將校ニ服務スル

三 十二月十四日直將校中野中尉トシテ日直將校ニ受任ス

別紙 十四日 日直將校 日直將校 日直將校

十五日 大門中尉 二十日 大門中尉

三 井上隊會報 十二月十四日

一 各隊無線通信兵ハ試驗通信實施トシテ明十五日口九口

大隊本部ニ集合ス

勤務

五 下中隊候補者ノ小川一等兵分遣シテ武部一等兵大門中尉ノ傳令トシテ後發部隊ヨリ出發シ一六二〇中隊ニ進及到着ス

部隊日直將校 日直將校 日直將校

中隊日直將校 奧原伍長

同上等兵 五島上等兵

分屯隊日直下官 根橋兵長

都廳監視哨長 竹内軍曹

歩哨 古林一等兵 向川一等兵

渡具監視哨長 松下上等兵 鍛冶一等兵

大分屯隊ハ勤務者ノ隙ク亦日直下官之ヲ指揮シ摩訶羅米用

(水際障害物分) 杭不ヲ採入 作業人員八名

渡度次將校以下 六七名 分屯隊將校以下 二九名

人員

十月十日
夜
辨
九
日
申
領

一 前日ニ引續キ作業ヲ實施ス
二 井上隊員命令 一三二四

一 種殊率衛兵トシテ喜名山ヨリ種殊率入至也ト進出ス

喜名 第四中隊 第六中隊 長以下八名

兩中隊ノ先立ニ海邊水邊日口九〇〇トス

二 別隊ノ通リ日直將校ニ服務ス

三 十月十日日直將校中野中尉トシテ日開普長ニ変更ス

別隊十四日 日開普長 二十日 日開普長

十五日 大門中尉 二十日 大門中尉

夜報

三 井上隊會報

十月十四日

一 各隊無線通信兵ハ試驗通信實施トシテ明日日口九〇〇

大隊本部ニ集合コト

四 隊員會長及司令派ノ移動トシテ大日口第五中隊ヲ第四中隊ニ

勤務

五 下士官候補者ノ小隊一隊共介達トシテ武部一等兵大門中尉ノ

傳令トシテ後發部隊ヨリ出發シ一六二五中隊ニ進及到着ス

部隊日直將校 日開普長 服務ス

中隊日直下官 奧原伍長

同上 隊員 五島上等兵

分屯隊日直下官 根橋兵長

都廳監視哨長 竹内軍曹

歩哨 古林一等兵 白川一等兵

歩哨 藤尾一等兵 伊藤一等兵

渡具知監視哨長 松下一等兵 鐵治一等兵

六 分屯隊ハ勤務者ヲ隊員日直下官之ヲ指揮シ隊地構築用

(水際障壁物分)杭不ヲ伐採ス 作業人員八名

渡具次將校以下 六七名 分屯隊將校以下 二九名

人員

十月五日
夜慶次

廿後 發將校以下二七名

旅團長
陣地視察

一 旅團長 大隊、陣地視察及び務遂視、夕ノ末隊セラルルニ付

中隊ハ午前中全食内外、清掃整頓ヲ行フ

二 二四〇旅團長 隊ニ來隊セラルル中食ヲ終リ一四〇〇ヨリ陣地視察

ソノ出發セラル

作業

三 中隊ハ一三〇〇中隊ヲ出發陣地ニ至リ前日ニ引續キ作業ヲ

實施ス

分遣

四 下士官候補者燒田信次、小洲宗作、二名一〇〇〇中隊ヲ出發ス

被服等、糧包積載進搬、夕ノ荷馬車一ヲ附ス

分遣先 旅團下士官候補者集合教育隊

五 井上隊日々命令第九九号

一 陸軍大尉 橋本安弘

右軍務連隊ノ夕ノ月十六日一為二日ノ予定ヲ以テ今歸仁ニス

下達命令
中隊命令

六一

二 陸軍中尉 大門正三

陸軍上等兵 澤田明

甲隊長ニ隨行ヲ命ス

二 別隊、通シ中隊業務分擔ヲ命ス(分遣表別紙、如シ)

部隊日直將校 大門中尉

中隊日直下士官 杉本軍曹

同 上等兵 齊藤上等兵

部隊衛兵司令 霜上伍長

岩上等兵

川湖一等兵、堀田一等兵、松井一等兵

勤務

分屯隊七 分屯隊六 隊團長陣地視察。ノ友隊三ノ友隊中陣地視察

勤務 日直下士官 所収軍曹

都屋監視哨長 竹前伍長
長 小柴一等兵 澤田一等兵
森川一等兵 下山一等兵

渡具知監視哨長 中山伍長
長 根塚一等兵

渡慶次 將校以下 六五名

分屯隊 將校以下 二九名

人員 渡慶次 將校以下 二七名

分屯隊四 分屯隊八 薪木、収束、陣地附近、寒廢材ノ棄又實施又

日直下士官 竹前伍長

都屋監視哨長 竹前一等兵 塚本一等兵
長 見一等兵 井一等兵

渡具知監視哨長 長瀬一等兵 塚本一等兵
長 山一等兵 塚本一等兵

渡慶次 將校以下 六五名

分屯隊 將校以下 二九名

後 將校以下 二七名

十月七日 一中隊ハ昨日ニ引續キ陣地ヲ補修シ實施ス

渡慶次

二 山崎軍曹 谷内軍曹 二名ハ中隊陣地構築用資材代カ箇
折復奉^タタノ口九口。中隊ヲ出發シ一二三口歸隊ス
三 池水一等兵無線教育ノタメ後發隊ヲ歸隊口九口。中隊ニ
到着ス

受領
耕四郎

四 井作命第四十五号九世區隊命令 一三二七〇八〇口

一 旅團ノ指示ニ依リ引續地區内ニ存在セル緊要鉄索カケル陣地
棲息掩蔽部其他構築物ニ使用セル木材釘其他資材ノ
取外シヲ禁示セルル如ク嚴達セラル

二 地區隊ハ地區内ニ於テ緊要鉄索カケラザル陣地棲息掩蔽部
其他ニ使用シタル鐵索鐵資材一切ヲ取外シテ嚴禁スルト共ニ
哨巡警戒ヲ派シ以テ該構築物ノ廢棄監視ニ任セシムル

三 各隊ハ速カニ自己陣地内ニ存在セル該當構築物ヲ哨巡或ハ
巡警ヲ派シ以テ該構築物ノ取外シヲ禁示シ以テ之カ廢棄資材
視テ嚴禁スルル

四 該當構築物ノ取外シハ見地ニ於テ指示ス
五 予ハ渡慶次國民隊ヲ在

北地區隊長 井上 大尉

勤務

部隊衛兵司令 杉本 伍長

歩隊 余川 上等兵

歩隊 細矢 一等兵 浜野 一等兵 五股 一等兵

分屯隊 五分屯隊ハ午前午後共ニ薪木ノ收集ヲ實施ス

勤務 田道下 士官 根橋 兵長

渡具知 監視哨長 松下 上等兵

歩哨 中山 一等兵 越巻 一等兵

都 屋 監視哨長 竹前 伍長

歩哨 澤田 一等兵 向川 一等兵

渡慶次 將校以下 六六名

分屯隊 將校以下 二九名



員

後發 將校以下 二六名

三月十八日
渡慶次

一 中隊ハ昨日引續キ陣地ニ補修一部以テ陣地掩体補修材料

二 田間曹長ハ一日ヨリ都座附近陣地ノ状況ヲ知セテ中隊台發

三 分屯隊山崎信義ヲ蜂巣藏火ノヲ大隊匠務室ニ入室ス
中山伍長以下三名ハ山崎信義ヲ護送シテ之ヲ到着ス

出張隊 四 中隊長今歸仁ニ出陣中ノ道本日ハ三ノ歸隊ス
日直下士官 伊藤伍長

分屯隊 五 勤務員ヲ除ク殘存人員ハ陣地附近ニ於テ各個掩体ヲ構築ス
大井川上等兵 大井川上等兵

勤務 日直下士官 伊藤伍長
都座監視哨長 根崎兵長 吉原一等兵 原本一等兵
渡具地監視哨長 中山伍長 歩哨 根崎一等兵 山崎一等兵
長瀬一等兵 中瀬一等兵

人員 渡慶次 將校以下 六六名
分屯隊 將校以下 二八名
後發 將校以下 二六名

三月十九日
渡慶次

一 中隊ハ引續キ陣地ノ補修一部以テ陣地附近ニ於テ陣地構築

二 山本一等兵 土井二等兵 佐藤兵起 吳ノヲ入院中ノ處 十月七日治癒

三 澤田上等兵 中隊長傳令ニテ出陣中ノ處 歸途今歸仁ヲ

大隊糧秣ヲ監視ニ任セテ十七時三十分中隊ニ歸還ス
中隊日直下士官 霜上位長

同 上等兵 澤田二等兵

部隊衛兵司令 小林伍長

歩哨 山崎武一等兵

歩哨 田中一等兵

分屯隊 四午前中掘体構築 午後米高

勤務 日直下士官 竹前伍長

都立監視哨長 入井一等兵

歩哨 向川一等兵

渡具知監視哨長 松下二等兵

歩哨 根塚一等兵

渡慶次 將校以下 六六名

分屯隊 將校以下 六名

渡 發 將校以下 一七名

夏野一等兵

河村一等兵

人員

一 中隊 八時前... 山崎軍曹... 中隊隊長... 大隊本部... 提慶次... 渡慶次... 渡具知... 渡 發... 渡 發... 渡 發...

二 中隊 陣地... 大隊本部... 提慶次... 渡慶次... 渡具知... 渡 發... 渡 發... 渡 發...

三 中隊 陣地... 大隊本部... 提慶次... 渡慶次... 渡具知... 渡 發... 渡 發... 渡 發...

四 一五〇〇名 中隊長... 金曜日... 一五〇〇名... 經理室... 於...

五 井井隊... 會報... 受領... 金曜日... 一五〇〇名... 經理室... 於...

月曜日 第四中隊 二五名

金曜日 第四中隊 七〇名

部隊日直降校 田園曹長

中隊日直下官 谷本軍曹

中隊日直下官 谷本軍曹

勤務 中隊日直下官 谷本軍曹

糧秣庫
衛兵

喜名糧秣庫衛兵本日九口反通。上番服務入

衛兵司令 野村佐長

步哨掛 松本三等兵

步哨 唐崎一等兵

測傷一等兵

川淵一等兵
數家一等兵

分屯隊大 都屋陣地前、木際障害物首科下三ヶ杭木ヲ伐去ス
勤務 日直下士官 根橋兵長

都屋監視哨長 竹内軍曹

步哨 澤田一等兵 塚本一等兵
森川一等兵 下山一等兵

渡具知監視哨長 鍛冶一等兵

步哨 平山一等兵 長瀬一等兵
山岡一等兵

渡慶次 將校以下 六六名

分屯隊 將校以下 二八名

後 渡慶次將校以下 二七名

十二月三十日 一 前日引續陣地、補給及木材、枕等ヲ實質施ス
渡慶次 二 指揮班、指揮所掩体、周圍、凹凸ヲ平均シ、糧食ヲ積込ス
各小隊、前陣地ヲ掩蔽シ、補給ヲ實質施ス、薪、糶、及支應施ス

壕ヲ構築、實質施ス

部隊日直將校 大門中尉

中隊日直下士官 島川軍曹

同上等兵 山城上等兵

部隊衛兵司令 奥原軍曹

步哨掛 恒川上等兵

步哨 中村一等兵

小谷一等兵

金谷一等兵

分屯隊 三合屯隊、木材、運搬及薪木割ヲ實質施ス

勤務 日直下士官 竹内軍曹

人員

都屋監視哨長 竹前 伍長
 步哨 吉原 一等兵 櫻野 一等兵
 渡慶友 將校以下 六六名
 分屯隊 將校以下 二八名
 後 將校以下 二七名

渡慶友

七月三日
 一 指揮班 八中 廿一等兵以下 五名 殘波岬附近 材木夜出シクニ廢材
 二 利用シ入谷田 薪木ヲ集メル
 各小隊 八前日引續キ作業ヲ 自負ス
 一 獨立 渡慶友 第三隊 命令 一三二二 日九、日
 陸軍 兵 長 五本 正通
 任 陸軍 伍長 命入
 第四隊 命入
 井上 隊 命入
 陸軍 伍長 命入
 谷 命入

勤務

古備分 開大 隊本部 勤務 命令
 中隊 直下 士官 杉本 軍曹
 同上 上等兵 山崎 上等兵

勤務

分屯隊 四 中隊長 都屋 附近 陣地 視察 夕、口 九、三日 來隊 七、廿四、日
 歸隊 七、廿一、日 築機 閉院 統率 隊長 梅本 中尉 同來
 日 直下 士官 根橋 兵長
 都屋 監視 哨長 竹中 軍曹
 步哨 澤田 一等兵 鶴見 一等兵
 下山 一等兵 向川 一等兵
 渡具知 監視 哨長 松下 上等兵 飯沼 一等兵
 步哨 平山 一等兵 山岡 一等兵
 渡慶友 將校 以下 六六名
 分屯 隊 將校 以下 二八名
 後 將校 以下 二七名

人員

受領
辨別

三井上隊是命令第十廿号

一左、通り日直將校ニ服務スルニ

左 能

十月二十七日 田間曹長

二十八日 大門中尉

會報 四井上隊會報

一學校ノ馬火並三桶ヲ無断ニテ借用スル隊アリタルニ付現ニ借
用シタル隊ハ一旦返納シテ今ノ用ニ際ハ本部ニ申出テ借用
記ヲ提出シ上學校ヨリ借用ニ使用ノコト

勤務

中隊日直下士官 伊藤任長

同 上等六五島上等兵

部隊衛兵司令 島川軍曹

歩哨 大井川上等兵

勤務

日直下士官 竹内軍曹

都屋監視哨長 前任長

歩哨 澤田一等兵 下山一等兵

渡具四監視哨長 松下上等兵 今井一等兵

歩哨 越巻一等兵 山岡一等兵

人員

渡渡次 將校以下 六九名

分屯隊 將校以下 二八名

後 發 將校以下 二五名

十月二十日
一 中隊ハ障地ヲ補修及新ニ掩体ヲ構築ス
二 川島一等兵何物監視ノタメ今歸仁ヨリ中隊ニ復歸シ分屯

隊ニ増員ス

度領 三井上隊是命令第十廿号 十月二十六日

井口命

一 橋本隊 陸軍衛生兵長 越田外治

右本二十六日華府連絡並三衛正材料送納、夕、島築球第七三

大部隊の出張ヲ命ス

井口命

四 井上隊長是命令第十〇九號

一 明二七日聯隊長巡視、夕、來隊セラル

隊前 別紙ニ通り心得ハ別紙略ス

大隊會報

五 井上隊長會報

一 明二七日一五、口ヨリ赤痢第一回豫防接種ヲ行ニ付各隊ハ

全員注射ヲ實施スハシ

時刻

自一六〇〇 第四中隊

場所

醫務室 前日四種混合毒液首八同日實施シコト

移動

大 幸士部隊ニ於テ本村伐採勤務中、今井一等兵重谷一等兵

死田一等兵、三名ハ任務ヲ終リシニ五、口中隊ニ復歸シタリ

到着又

勤務

中隊日直下士官 一 霜上伍長

上等兵 齊藤上等兵

分屯隊

七 勤務以外、人員ヲ以テ陣地ニ補給及掩護ヲ擔當ス

衛生 三、小銃各個掩護九ヶ所充テス

勤務

日直下士官 竹前伍長

都屋監視哨長 竹内軍曹

正哨 下山一等兵

入井一等兵

渡具監視哨長 松下一等兵

正哨 車山一等兵

銀名一等兵

人員

渡 渡次 將校以下七二名

分屯隊 將校以下二九名

夜 發 將校以下二四名